

ウクライナ支援 学内で募金活動

清心女子大生有志

ロシアが侵攻するウクライナの支援に向け、ノートルダム清心女子大（岡山市北区伊福町）の学生有志が11日、学内で募金活動を行った。12日も実施し、隣国ハンガリーで支援活動を続ける国際医療ボランティアAMDA（同）に寄付する。

同大卒の難波妙・AMD理事が4月下旬、支援内容を伝える

ウクライナ支援の募金を呼び掛ける学生有志



特別講義を行い、受講した学生らが企画した。11日は昼休みに、約20人が校舎前などに立ち、「ウクライナ緊急支援募金」とのメッ

セージを掲げて教職員、学生に協力を呼び掛けた。

募金箱も5月末まで学内7カ所に設置する。有志代表の2年木藤舞依子さん（19）は「ウクライナの人を支えるため、少しでも力になりたい」と話していた。

AMDAは3月以降、多くの避難民が身を寄せるハンガリーに医師らを派遣。現在も看護師が同国で支援活動を続けている。

（黒瀬空）